



ヨーロッパ音楽の花園から
茨木へやってくる
世界の弦の名手たち——

チェコ

シュターミッツ弦楽四重奏団

Stamie Quartet

with 井岡みほ

◎フォルテピアノ

ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 ヘ長調 第12番 作品96《アメリカ》

ヤナーチェク：弦楽四重奏曲 第2番《内緒の手紙》

モーツァルト：ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 KV.493



with Miho Inoue

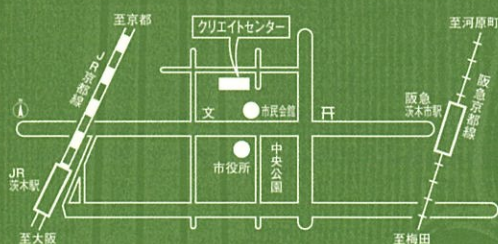
'99

11/5

【金】

19:00開演
(18:30開場)

茨木市クリエイトセンター・センターホール



阪急茨木市駅から西へ徒歩10分 JR茨木駅から東へ徒歩10分 市役所・市民会館北100m

■入場料

一般：1階席＝3,500円 2階席＝2,500円
65歳以上、24歳以下：1階席＝2,000円 2階席＝1,500円
障害者及びその介護者 ※この取り扱いは文化振興財団のみです。

■チケットの取り扱い [8月23日発売]

(財)茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055
ローソンチケット ☎06-6369-6633 [Lコード：56082]
チケットぴあ ☎06-6363-9999

■お問い合わせ・電話予約

0726-25-3055 (財)茨木市文化振興財団
月～金 9:00～17:15 (土、日、祝日は休業)
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイトセンター1F

主催＝財団法人茨木市文化振興財団

シュターミッツ弦楽四重奏団 with 井岡みほ

1999年11月5日(金)／19：00／茨木市クリエイトセンター・センターホール



シュターミッツ弦楽四重奏団
STAMIC QUARTET

(左から)

ヴィチェスラフ・チェルノフ [ヴァイオリン]

ウラジミール・レイクスネル [チェロ]

ヤン・ペルシュカ [ヴィオラ]

ヨゼフ・ケクラ [ヴァイオリン]

14年前の1985年に、経験豊かな弦のソリストたちによって結成された。「シュターミッツ」という名前は、メンバーのヴァイオリン奏者と同郷のボヘミアの作曲家・J. W.シュターミッツに因んでつけられた。

結成後すぐ、チェコ室内楽賞を受賞、翌年ザルツブルグの国際室内楽コンクールで第1位入賞。チェコはもとより世界中から注目され、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの主な都市での演奏をはじめ、各地の音楽祭に招かれ絶賛をうけた。

演奏曲は、古典派のモーツァルト・ベートーヴェンから現代作曲家までと幅広い。

CDには、数えきれないほどのたくさんの曲を収めているが、中でもドヴォルザーク、ヤナーチェク、スメタナ、ボロディン、マルティヌの弦楽四重奏曲は、シャルル・クロアカデミーのディスク大賞を2回もうけている。

チェコのプラハ市はヨーロッパ芸術都市に選ばれており、その記念コンサートが来年2000年に開かれ、「シュターミッツ弦楽四重奏団」がプラハ市の代表として演奏することになっている。

ヨーロッパ音楽の花園「チェコ」から茨木へやってくる“世界の弦の名手たち”である。



井岡みほ◎フォルテピアノ IOKA Miho

茨木市生まれ。茨木小学校、養精中学校、茨木高校を経て、同志社女子大学音楽科ピアノ専攻卒。ドイツ国立フライブルク音楽大学ピアノ・チェンバロ両専攻、同大学チェンバロ科卒、国家芸術家資格取得。在学中ピアノとチェンバロをE.ピヒト＝アクセンフェルトに、通奏低音をS.ヘラーに、ルネッサンス・バロック宮廷舞踊をヤコビに師事。マスタークラスにおいて、K.ギルベール、G.レオンハルト（チェンバロ）、H.ボルケント（フォルテピアノ）に師事。1975年から関西を中心にソリスト及び室内楽の分野で、積極的に演奏活動始める。1980～85年、京響のメンバーと「オワゾーリールアンサンブル」を結成、演奏活動を行う。大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、ヴィルトオジ・ディ・プラハ、B.シェーファー、V.フデチェック、E.ピヒト＝アクセンフェルト 各氏などと協演。神戸女学院大学、大阪音楽大学、同志社女子大学講師。茨木市音楽芸術協会理事。



フォルテピアノ

18世紀の初めに発明されたピアノは、フォルテピアノと呼ばれ、木で出来ていて、鋼鉄の枠が使われていない。音量を求めた現代のピアノに比べモーツァルトが愛用したフォルテピアノは、やさしく柔らかい音色を持ち、非常にデリケートなニュアンスと音域により異なる響きは、大変魅力的である。

使用楽器 D.ジャック・ウエイ製作フォルテピアノ（ワルターモデル）